

科目区分	科目名	開講 学年	単位	教員名	経歴	実務経験と授業内容との関連性	備考
教養科目	文学の世界	2	2	平岡正実	元小・中学校教諭	学校現場における教員経験を有する教員が、ふるさと教育の視点から福井県や越前市の文化や文学者について解説したり、青少年期における読書活動の意義・重要性について講義する。	R9年度開講予定
教養科目	キャリア・デザイン	2	2	升田法継	元情報通信会社管理職（社員数：26万人、主な担当業務：人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システム コンサルタント等）	情報通信会社において、人事や社長・取締役スタッフ経験のある教員が、社会の中での役割を主体的に果たしながら「自分らしい生き方」を実現するための力を育むことを目的とし、学生の自立および学生が自身の様々な可能性を発見・再確認できるような機会を提供する。	R9年度開講予定
教養科目	インターンシップ	3	2	升田法継	元情報通信会社管理職（社員数：26万人、主な担当業務：人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システム コンサルタント等）	情報通信会社において、人事や社長・取締役スタッフ経験のある教員が、学生の就業体験にあたっての心構えや留意点についての解説や就業体験後の振り返り（反省・成果の確認）の場を提供するとともに、振り返りを踏まえた今後の課題について、学生生活を関連づけて考えることができるよう促す。	R10年度開講予定
専門科目	臨床心理学概論Ⅰ	2	2	稲木康一郎	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、心理臨床現場において基礎となる臨床心理学のなりたちと代表的な理論について講義する。	
専門科目	臨床心理学概論Ⅱ	2	2	稲木康一郎	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、心理臨床現場における各領域の心理療法の実践事例と、臨床実践における留意点について解説する。	
専門科目	心理面接演習	3	2	稲木康一郎	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、心理面接法の基本的な理論や技法、必要な倫理的態度について解説する。	
専門科目	臨床心理学演習	3	2	渡辺克徳	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得するために演習を行う。	
専門科目	健康・医療心理学	2	2	渡辺克徳	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、心理職が保健医療領域で行う業務と専門性について講義する。	
専門科目	感情・人格心理学	2	2	森俊之	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、感情および性格に関する諸理論や研究について講義し、自己や他者の理解と対人関係の問題への対処に関して解説する。	
専門科目	心理的アセスメント	2	2	森俊之	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、心理的アセスメントの基礎について、その目的や意義、倫理などを解説する。	
専門科目	公認心理師の職責	2	2	森俊之	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、公認心理師の役割、法的義務及び倫理をはじめ、保健医療、福祉、教育その他の分野における具体的な業務について説明します。	
専門科目	福祉心理学	3	2	目黒達哉	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、福祉現場での適切な心理的支援のあり方について、その目的や意義、方法論などを解説する。	
専門科目	精神疾患とその治療	3	2	今井田貴裕	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、精神疾患に対する心理療法について、伝統的な技法から最新のものまで解説する。	
専門科目	心理検査演習	2	2	吉水ちひろ	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員の指導の下、心理検査法の背景理論や実施方法、効用と限界の認識について理解するために演習を行う。	
専門科目	産業カウンセリング	3	2	黒田 優希	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、精神疾患や復職支援の実際についての講義を行う。これから社会に出るうえで身につけておきたいメンタルヘルスに関する知識を習得し、社会問題について考えることの土台を作ることを目指す。	
			30				

実務経験のある教員による授業科目一覧：2026年度

科目区分	科目名	開講 学年	単位	教員名	経歴	実務経験と授業内容との関連性	備考
教養科目	文学の世界	2	2	平岡正実	元小・中学校教諭	学校現場における教員経験を有する教員が、ふるさと教育の視点から福井県や越前市の文化や文学者について解説したり、青少年期における読書活動の意義・重要性について講義する。	R9年度開講予定
教養科目	キャリア・デザイン	2	2	升田法継	元情報通信会社管理職(社員数:26万人、主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システム コンサルタント等)	情報通信会社において、人事や社長・取締役スタッフ経験のある教員が、社会の中での役割を主体的に果たしながら「自分らしい生き方」を実現するための力を育むことを目的とし、学生の自立および学生が自身の様々な可能性を発見・再確認できるような機会を提供する。	R9年度開講予定
教養科目	インターンシップ	3	2	升田法継	元情報通信会社管理職(社員数:26万人、主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システム コンサルタント等)	情報通信会社において、人事や社長・取締役スタッフ経験のある教員が、学生の就業体験にあたっての心構えや留意点についての解説や就業体験後の振り返り(反省・成果の確認)の場を提供するとともに、振り返りを踏まえた今後の課題について、学生生活を関連づけて考えることができるよう促す。	R10年度開講予定
専門科目	現代社会と企業	1	2	中山 健	独立行政法人及び金融機関に勤務	本科目は、独立行政法人ならびに金融機関において、企業の調査・分析に関連する実務経験をもつ教員が担当する科目である。	
専門科目	マーケティング入門	1	2	中山 健	独立行政法人及び金融機関に勤務	本科目は、独立行政法人ならびに金融機関において、企業の調査・分析に関連する実務経験をもつ教員が担当する科目である。	
専門科目	中小企業論	3	2	中山 健	独立行政法人及び金融機関に勤務	本科目は、独立行政法人ならびに金融機関において、企業の調査・分析に関連する実務経験をもつ教員が担当する科目である。	R10年度開講予定
専門科目	福井地域学	1	2	南保 勝	地方銀行及びそのシンクタンクに勤務	地方銀行及びそのシンクタンクで学んだ実践的な経済学および専門とする地域経済学をベースに、地域の歴史、経済や産業・企業の現状、地域づくり・地域活性化の手法などについて、新たに確立した「福井地域学」という領域学により解説する。	
専門科目	まちづくり論	2	2	南保 勝	地方銀行及びそのシンクタンクに勤務	地方銀行及びそのシンクタンクで学んだ実践的な経済学、経営学を活かして、これまで30年にわたり研究した全国のまちづくり事例を紹介しながら、少子高齢化や地方の過疎化に向け、地域は「まちづくり」にどのように取り組むべきかを考察しながら、「まちづくり」に関する専門的知識修得を目指す。	R9年度開講予定
専門科目	金融リテラシー	2	2	南保 勝	地方銀行及びそのシンクタンクに勤務	金融商品が多様化、高度化、複雑化する中で、生活者の暮らしにも正確な金融経済に関する知識と的確な選択・判断力(＝金融リテラシー)を身に付けることの必要性が高まっている。本講義は、地方銀行及びそのシンクタンクで学んだ実践的な金融論をベースに、社会に出て必要となる金融リテラシー習得を目指す。	R9年度開講予定
専門科目	地域経済の基礎	1	2	南保 勝	地方銀行及びそのシンクタンクに勤務	若者や超ビギナーのために開講する現代経済入門講座。地方銀行およびシンクタンクで学んだ実践的経験を活かし、日本経済を取り巻く環境や諸問題などを理解するとともに、経済活動を把握するための各種統計・経済データを読み取る力を養うことで、社会人として必要な生きた経済学の基礎知識を身につける。	R9年度開講予定
専門科目	ファイナンス論	3	2	南保 勝	地方銀行及びそのシンクタンクに勤務	ファイナンスに関する知識は、一般事業会社などの企画部門や管理部門に従事する人にとっては必要不可欠な知識。そこで本講義では、地方銀行及びそのシンクタンクで学んだ実践的な経済学、経営学を活かして、金融仲介機能が円滑に発揮されるための、金融の機能と役割についての知識修得を目指す。	R10年度開講予定
専門科目	地域社会論	2	2	升田法継	NTT(日本電信電話株式会社)において、社長スタッフ、取締役秘書、人事、マーケティング、新規ビジネス開発、システム・コンサルタント等業務のマネジャーを経て現職	NTT(日本電信電話株式会社)において、地域活性化推進業務(社長スタッフとして同友会へ出向)や地域情報化推進を担うシステム・コンサルタント経験のある教員が、文化、福祉、防犯、防災、子育てや教育等社会生活の営みと地域との関係性や、地域社会を取り巻く主な問題点を取り上げるとともに、他者理解と自己表現をベースとしたコミュニケーション理論について解説する(狙い:現代の人口減少社会における地域の自立と自治のあり方や地域の特性を活かした魅力づくり、「まちづくり」や「まちマネジメント」について考えるための基礎知識の修得および地域や社会と繋がるコミュニケーションのあり方についての理解を深める)。	R9年度開講予定
専門科目	福井リーダーシップ論	3	2	升田法継	NTT(日本電信電話株式会社)において、社長スタッフ、取締役秘書、人事、マーケティング、新規ビジネス開発、システム・コンサルタント等業務のマネジャーを経て現職	NTT(日本電信電話株式会社)において、経済界のリーダー養成プロジェクト業務(社長スタッフとして同友会へ出向)経験のある教員が、実社会で活躍されているゲスト・スピーカー等も招聘しながら、ビジネス・コミュニケーションの基本的な類型や考え方について解説するとともに、周囲を巻き込みながら物事を進めたいけるような実行力や、目標を達成するために周囲を好ましい方向へ向かわせる影響力等について考える機会を提供する(狙い:実社会において自身の個性や資質をより活かせるようにするための実践的なコミュニケーション能力およびリーダーシップの向上を図る)。	R10年度開講予定
専門科目	地域コミュニティ論	2	2	升田法継	NTT(日本電信電話株式会社)において、社長スタッフ、取締役秘書、人事、マーケティング、新規ビジネス開発、システム・コンサルタント等業務のマネジャーを経て現職	NTT(日本電信電話株式会社)において、地域活性化推進業務(社長スタッフとして同友会へ出向)や地域情報化推進を担うシステム・コンサルタント経験のある教員が、地域の価値を高める様々な取り組み事例等(特にメディア・情報発信関連分野)も取り上げながら、近代の「地域コミュニティ」を取り巻く状況および課題、ここからの「地域コミュニティ」の展望・あり方や、他者理解と自己表現をベースとしたコミュニケーション等について、学生自らが深く考える機会や場を提供する(狙い:現代の人口減少社会における地域の自立と自治のあり方や地域の特性を活かした魅力づくり、「まちづくり」や「まちマネジメント」において、自らの役割を主体的に考え、果たしていくための力を養成する)。	R9年度開講予定
専門科目	公共政策論	2	2	竹内直人	県庁勤務。その後民間企業の社外役員	福井県庁で30年間勤務し、その間企画部門や財政部門で政策づくりに従事し、また民間企業の社外役員としての経験をもつ教員が、官と民(政府と企業)、両方の観点から地域の課題を解決する方法について考え、解説する。	R10年度開講予定
			30				

実務経験のある教員による授業科目一覧：2026年度

科目区分	科目名	開講 学年	単位	教員名	経歴	実務経験と授業内容との関連性	備考
教養科目	文学の世界	2	2	平岡正実	元小・中学校教諭	学校現場における教員経験を有する教員が、ふるさと教育の視点から福井県や越前市の文化や文学者について解説したり、青少年期における読書活動の意義・重要性について講義する。	R9年度開講予定
教養科目	キャリア・デザイン	2	2	升田法継	情報通信会社管理職(社員数:26万人、主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システム コンサルタント等)	情報通信会社において、人事や社長・取締役スタッフ経験のある教員が、社会の中での役割を主体的に果たしながら「自分らしい生き方」を実現するための力を育むことを目的とし、学生の自立および学生が自身の様々な可能性を発見・再確認できるような機会を提供する。	R9年度開講予定
教養科目	インターンシップ	3	2	升田法継	情報通信会社管理職(社員数:26万人、主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システム コンサルタント等)	情報通信会社において、人事や社長・取締役スタッフ経験のある教員が、学生の就業体験にあたっての心構えや留意点についての解説や就業体験後の振り返り(反省・成果の確認)の場を提供するとともに、振り返りを踏まえた今後の課題について、学生生活を関連づけて考えることができるよう促す。	R10年度開講予定
専門科目	臨床栄養学Ⅰ (栄養療法)	2	2	佐藤裕保	管理栄養士	病院勤務経験を活かし、疾患別にその発症機序、臨床症状に応じて、疾患の改善に必要な条件を栄養学の面から明らかにし、栄養食療法の意義や方法・効果について解説する。	
専門科目	臨床栄養学Ⅲ (チーム医療)	3	2	佐藤裕保	管理栄養士	病院勤務経験を活かし、管理栄養士に係る医療保険および介護保険の実際、医療施設および介護施設における、多職種連携の実際について解説する。	
専門科目	学校栄養教育の理論と方法	3	2	清川ひろみ	元福井県栄養教諭	栄養教諭としての実務経験を活かし、栄養教諭の職務内容、学校給食の教育的な意義・給食管理の実際、児童生徒の食生活を取り巻く課題、食生活の機能、地域の食文化等、栄養教諭として必要な事項を演習を交えながら理解を深めていく。	
専門科目	運動生理学	2	2	鳴瀬碧	健康運動指導士・ピラティストレーナー 薬剤師	スポーツ・健康増進関連施設での実務経験、健康運動指導士・ピラティストレーナー(個人事業主)としての実務経験を活かし、身体の構造と機能および運動時の生理機能の変化、健康増進のための運動、生活習慣病予防・改善のための運動と栄養、薬物療法中の運動のリスク等について解説する。また、スポーツと栄養についての講義では、スポーツファーマシストとして、アスリートのサポートを行ってきた経験も交えて授業を展開する。	
専門科目	公衆衛生学	2	2	鳴瀬碧	薬剤師	薬剤師として医療提供施設での実務経験を活かし、国が展開する国民の健康づくりに関する施策、医療保険をはじめとする社会保障の仕組み、老人保健、母子保健、地域保健、産業保健、国際保健等、保健・医療・福祉の制度について解説する。	
専門科目	公衆衛生学実習	3	1	鳴瀬碧	薬剤師 健康運動指導士	薬剤師として医療提供施設での実務経験とスポーツ・健康増進関連施設での実務経験、健康運動指導士としての実務経験を活かし、健康・疾病・行動に関わる統計資料の活用方法、健康状態・疾病の測定と評価等について実習を通して理解を深めていく。	
専門科目	解剖生理学	1	2	米田誠	医師	病院での実務経験を活かし、人体の構造と機能がどのように密接に関連しているのかを理解できるように教授する。また正常な個体として人体が行う食事、運動、休養などの基本的な生活活動の機構、並びに環境変化に対する対応機構も実際の傷病者での回復経験等もふまえて解説する。	
専門科目	臨床医学概論	2	2	米田誠	医師	病院での実務経験を活かし、患者の病態を正確に把握し栄養指導、栄養療法を行ううえで必要な、各種疾患の病因、機序、症状、診断、食事療法も含めた治療、予防法などに関する講義を展開する。	
専門科目	応用栄養学Ⅰ (成長・発達・加齢、食事摂取基準)	1	2	新井田裕樹	管理栄養士	管理栄養士として医療提供施設での実務経験を活かし、エネルギー及び栄養素に関する食事摂取基準がどのような科学的根拠に基づいて策定されているのかの基礎理論)及び、人体の成長・発達・加齢にともなう主要な生理現象と生化学的变化、ライフステージにおける食事摂取基準の策定と活用ならびに栄養マネジメントにおける食事摂取基準の活用について解説する	
専門科目	応用栄養学Ⅲ (ライフステージ栄養学)	2	2	新井田裕樹	管理栄養士	管理栄養士として医療提供施設での実務経験を活かし、妊娠・授乳期から授乳期、幼児期、学童期、青年期、成人期を経て高齢期に至るプロセスにおいて各ステージの生理的特徴や栄養状態等の変化を理解し、それに基づいた基本的な栄養アセスメントのあり方を解説する。また、各ステージで留意すべき栄養関連の病態・疾患に関しても解説する。	
専門科目	臨床栄養学実習Ⅲ (臨床栄養管理)	3	1	新井田裕樹	管理栄養士	管理栄養士として医療提供施設での実務経験を活かし、傷病者個々の病態や栄養状態に適合した栄養管理を行う能力を養うための症例モデルを用いた栄養アセスメント・栄養管理計画・栄養量の設定・栄養教育計画など、栄養ケアプランの作成・実施・評価に関する総合的なマネジメントについて実習する。	
専門科目	調理学	1	2	佐藤真実	管理栄養士	病院、福祉施設等での勤務経験を活かし、食事設計に必要な条件や具体的な調理科学理論について講義する。	
専門科目	調理学実習	1	1	佐藤真実	管理栄養士	病院、福祉施設等での勤務経験を活かし、実際の食事設計に必要な条件を設定しながら、調理技術の基本について実習する。	
専門科目	応用調理学実習	1	1	佐藤真実	管理栄養士	病院、福祉施設等での勤務経験を活かし、実際の食事設計に必要な条件を設定しながら、献立作成や環境設定を学ぶとともに高度な調理技術について実習する。	
			30				

実務経験のある教員による授業科目一覧：2026年度

科目区分	科目名	開講 学年	単位	教員名	経歴	実務経験と授業内容との関連性	備考
教養科目	文学の世界	2	2	平岡正実	元小・中学校教諭	学校現場における教員経験を有する教員が、ふるさと教育の視点から福井県や越前市の文化や文学者について解説したり、青少年期における読書活動の意義・重要性について講義する。	R9年度開講予定
教養科目	キャリア・デザイン	2	2	升田法継	元情報通信会社管理職(社員数:26万人、主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システム コンサルタント等)	情報通信会社において、人事や社長・取締役スタッフ経験のある教員が、社会の中での役割を主体的に果たしながら「自分らしい生き方」を実現するための力を育むことを目的とし、学生の自立および学生が自身の様々な可能性を発見・再確認できるような機会を提供する。	R9年度開講予定
教養科目	インターンシップ	3	2	升田法継	元情報通信会社管理職(社員数:26万人、主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システム コンサルタント等)	情報通信会社において、人事や社長・取締役スタッフ経験のある教員が、学生の就業体験にあたっての心構えや留意点についての解説や就業体験後の振り返り(反省・成果の確認)の場を提供するとともに、振り返りを踏まえた今後の課題について、学生生活を関連づけて考えることができるよう促す。	R10年度開講予定
専門科目	教職論	1	2	草桶勇人	元中学校・義務教育学校教諭、高等学校講師	中学校・義務教育学校教諭、高等学校講師として、算数・数学を中心とする授業実践や特別活動等の実践を行ってきた経験を有する教員が、教職の意義や教員に求められる資質や能力について講義する。	
専門科目	算数	2	2	草桶勇人	元中学校・義務教育学校教諭、高等学校講師	中学校・義務教育学校教諭、高等学校講師として、算数・数学を中心とする授業及び生活指導実践を行ってきた経験を有する教員が、学習指導要領に示されている教科「算数」の学習指導内容について講義する。	
専門科目	算数科教育法	2	2	草桶勇人	元中学校・義務教育学校教諭、高等学校講師	中学校・義務教育学校教諭、高等学校講師として、算数・数学を中心とする授業実践と生活指導実践を行ってきた経験を有する教員が、学習指導要領に示されている教科「算数科」の学習指導内容およびその指導法について講義する。	
専門科目	教育課程論Ⅱ	2	2	草桶勇人	元中学校・義務教育学校教諭、高等学校講師	中学校・義務教育学校教諭、高等学校講師として、授業実践、生活指導実践を行ってきた経験と算数・数学のカリキュラム開発の経験を有する教員が、カリキュラム編成や学習指導要領の理解等、教育課程に関わり、教員が必要とする専門性・技能等について講義する。	
専門科目	教職実践演習(幼・小)	4	2	草桶勇人	元中学校・義務教育学校教諭、高等学校講師	中学校・義務教育学校教諭、高等学校講師として、算数・数学を中心とする授業実践や特別活動等の実践を行ってきた経験を有する教員が、教職の意義や教員に求められる資質や能力について実践的な活動を通して講義する。	
専門科目	理科	2	2	嶋田敬介	元学芸員	自然史資料館学芸員として子どもを対象とする講座・自然体験活動等の講師経験を有する教員が、学習指導要領に示されている教科「理科」の学習指導内容について講義する。	
専門科目	理科教育法	2	2	嶋田敬介	元学芸員	自然史資料館学芸員として子どもを対象とする講座・自然体験活動等の講師経験を有する教員が、学習指導要領に示されている教科「理科」の学習指導内容およびその指導法について講義する。	
専門科目	子どもと環境	2	1	嶋田敬介	元学芸員	自然史資料館学芸員として子どもを対象とする講座・自然体験活動等の講師経験を有する教員が、幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領に示されている領域「環境」の内容について、保育者の援助方法、保育計画および実践、評価について実践的に講義する。	
専門科目	保育内容指導法(環境)	2	1	嶋田敬介	元学芸員	自然史資料館学芸員として子どもを対象とする講座・自然体験活動等の講師経験を有する教員が、幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領に示されている領域「環境」の内容について、保育者の援助方法、保育計画および実践、評価について実践的に講義する。	
専門科目	乳児保育Ⅰ	2	2	森尾恵里	元保育士	保育士として、保育実践を行ってきた経験を有する教員が、3歳未満児の保育内容と運営体制について、実践的に分析、考察、検討する。	
専門科目	乳児保育Ⅱ	2	2	森尾恵里	元保育士	保育士として、保育実践を行ってきた経験を有する教員が、3歳未満児の保育内容と運営体制について、実践的に分析、考察、検討する。	
専門科目	国語	1	2	平岡正実	元小・中学校教諭	小学校教諭・中学校教諭として、授業実践、生徒指導実践を行ってきた経験を有する教員が、学習指導要領に示されている教科「国語」の学習指導内容について講義する。	
専門科目	国語科教育法	3	2	平岡正実	元小・中学校教諭	小学校教諭・中学校教諭として、授業実践、生徒指導実践を行ってきた経験を有する教員が、学習指導要領に示されている教科「国語」の学習指導内容およびその指導法について講義する。	
			30				